

安全データシート (SDS)

【1. 製品及び会社情報】

製品名 : OTS ミネラルクリーン
会社名 : 有限会社 OTS
住 所 : 大阪市西区立売堀 6 - 8 - 23
郵便番号 : 〒550 - 0012
電話番号 : 06 - 6441 - 1395
F A X 番号 : 06 - 6441 - 6632
担当部門 : 製造部

【2. 危険有害性の要約】

GHS分類

健康に対する有害性
急性毒性（経口） : 区分 4
急性毒性（粉塵・ミスト） : 区分 4
皮膚腐食性／刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷性
／眼刺激性 : 区分 1
生殖毒性 : 区分 2
特定標的臓器／全身毒性
（単回暴露） : 区分 1（呼吸器系）
特定標的臓器／全身毒性
（反復暴露） : 区分 2（胸腺、肝臓）

（注）記載なき GHS 分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込んだり吸入すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器系の障害
長期にわたる又は反復ばく露による胸腺、肝臓の障害のおそれ

注意書

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
 取扱後は良く手を洗うこと。
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい
 場所で休息させること。
 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て
 脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタ
 クトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。そ
 の後も洗浄を続けること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当て
 を受けること。
 ただちに医師に連絡すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
 特別な処置が必要である。
 口をすすぐこと。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を国、都道府県、市町村の関連法規・法令を
 遵守して廃棄する事。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 製品の用途 : 洗浄剤
 成分及び含有量
 ・水
 ・ヤシ油系非イオン界面活性剤
 ・フルーツ酸
 ・クエン酸
 ・泡調整剤
 ・食添用染料(微量)
 ・香料 (マスクング)

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染した衣服、靴及び靴下等を脱がせ、触れた部分に多量の水
 で最低 15 分間洗浄する。速やかに医師の手当てを受ける。
 眼に入った場合 : 直ちに多量の清浄な水で最低 15 分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の
 手当を受ける。
 洗顔の際、まぶたを指で良く開いて眼の隅々まで水が良く行渡るよう
 に洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、
 更に数分間洗浄する事。

飲み込んだ場合 : 清浄な水で口腔を洗浄し、すぐに吐き出させる。
速やかに医師の手当を受ける。

【5. 火災時の措置】

消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水等
特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消化作業時には煙の吸入を避ける。
特有の消化方法 : 消化作業は、可能な限り風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。関係者以外は、安全な場所に退避させる。
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終了するまで十分に換気する。
作業時は必ず保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用し、必要に応じ、他の保護具も併用する。
環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や公共用水域等へ流出させ、環境を汚染しないように注意する。
除去方法 : 少量の場合には、吸着剤（おがくず、砂、ウエス等）に吸着させて取り除き、残りをウエス、雑巾等で拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、漏出物を安全な場所に導いてからドラム缶等に回収する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い
技術的対策 : 適切な換気を行い、作業時は、適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する。
注意事項 : 火気注意
安全取扱い注意事項 : 取扱いは、換気の良い場所で行う。
適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する。
取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。
保管
適切な保管場所 : 屋内の通気性の良い場所で密閉容器で保管する。
直射日光や雨水が当たる、或いは湿気のある場所での保管は避ける。
安全な容器包装材料 : 製品仕様容器に準じる。

【8. 暴露防止及び保護措置】

設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設置する。
管理濃度 : 設定無し
許容濃度 : 設定無し
保護具
呼吸器用保護具 : 空気呼吸器（SCBA）を着用する。
手の保護具 : 保護手袋
目の保護具 : 保護眼鏡
皮膚や身体の保護具 : 長袖作業服
適切な衛生対策 : 取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状態
外観 : 黄色透明液体

臭気 : 香料臭
 PH (25℃) : 1.7 ± 0.5
 比重 (25℃) : 1.05 ± 0.02

【10. 安定性及び反応性】

安定性 : 通常の取扱いでは、熱、光、衝撃に対して安定である。
 但し、40℃以上の高温及び直射日光下での長期放置は品質劣化を
 起こすので避ける事。
 反応性 : 通常の手扱いは安定である。
 避けるべき条件 : 資料なし
 避けるべき材料 : 資料なし
 危険有害な分解生成物 : 資料なし

【11. 有害性情報】

急性毒性
 経口 : 資料なし
 経皮 : 資料なし
 吸入・ガス : 資料なし
 吸入・蒸気 : 資料なし
 吸入・粉塵、ミスト : 資料なし
 皮膚刺激性・腐食性 : 資料なし
 眼刺激性 : 資料なし
 呼吸器感作性 : 資料なし
 皮膚感作性 : 資料なし
 生殖細胞変異原性 : 資料なし
 発癌性 : 資料なし
 生殖毒性 : 資料なし
 特定標的臓器／全身毒性
 (単回暴露) : 資料なし
 特定標的臓器／全身毒性
 (反復暴露) : 資料なし

【12. 環境影響情報】

生態毒性 : 資料なし
 残留性／分解性 : 資料なし
 生体蓄積性 : 資料なし
 土壌中の移動性 : 資料なし
 その他 : 資料なし

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物 : 【7. 取扱い及び保管上の注意】の項を参照。
 焼却する場合、国、都道府県、市町村の関連法規・法令を遵守して
 廃棄する。
 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた法定廃棄物処理業者へ
 委託処理する。
 汚染容器・包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合は、内容物を除去後に都道府県知
 事の許可を受けた法定廃棄物処理業者へ委託処理する。

【14. 輸送時の注意】

国際規制 国連番号 3265
 品名 (国連輸送名) その他の腐食性液体
 国連分類 クラス 8 (腐食性物質)

容器等級

II

- 国内規制
- 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送：船舶安全法の定めに従う。その他の腐食性物質（クラス8）
航空輸送：航空法の定めに従う。その他の腐食性物質（クラス8）

輸送の特定の安全対策及び条件：堅牢で適切な密閉容器に入れ、輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無い事を確認する。
荷崩れの防止を確実にいき、該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

【15. 適用法令】

国内適用法

- 化審法：該当しない
(特定化学物質、
監視化学物質)
消防法：該当しない
労働安全衛生法：該当しない
化管法（PRTR法）：該当しない
毒物及び劇物取締法：該当しない

【16. その他の情報】（引用文献等）

- GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度（厚生労働省）
職場のあんぜんサイト（厚生労働省）

【注 意】

記載内容は、当社が現時点で入手出来た最新の資料や情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上でお取扱い願います。
総ての化学製品には未知の有害性があり得る為に、取扱いには細心の注意が必要です。
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定していただきますようお願い申し上げます。
本製品安全データシートは、新しい情報や知見を入手した時や、法令が改正された場合には追加、訂正される事があります。